



### 1. 荷重計の違い

太田ジオ版の荷重計は、最大30000cN（センチニュートン）となっています。見慣れない単位なのでギョッとしますが、1N=100cN 300Nですから、約30kgが最大となっています。

一方、土研版は、最大500N（約50kg）が最大となっています。

実際に荷重を掛けて見ればわかるのですが、荷重はこの荷重計をもって、手の握力と摩擦で押し下げます。50kgといえば人の体重に近く、容易にその荷重を掛けることはできません。現実的には30kgあたりが限度です。

目盛も、土研版は5N = 500cNがひと目盛であるのに対し、太田ジオ版は200cN = 2Nですので、太田ジオ版の方が読みやすいです。

### 2. 押し込み荷重計測を行う場合

荷重計の黒い部分を握って押し込みます。土検棒の機能性における弱点がここにあります。まだ改善の余地あり、という感じです。土層深のみを知りたい場合であれば、荷重計をつけず取っ手をつけて押し込めば良いので、こちらは楽な作業です。

### 3. ロッドの抜き方

人力で押し込むだけなので、簡易貫入試験のように逆打ちしないと抜けないなどということにはなりません。取っ手をつけて抜けばすんなり抜けるはずですが、時々、石が噛んで抜けない場合もありますが、根気よくやれば抜けます。

太田英将@あんしん宅地関西&太田ジオ ohta@ohta-geo.co.jp

有限会社太田ジオリサーチ

<http://www.ohta-geo.co.jp>

〒651-1432 兵庫県西宮市すみれ台3丁目1番地

TEL.078-907-3120 FAX.078-907-3123

あんしん宅地関西（地盤リスク研究所内）

[http://www.あんしん宅地.jp/kansai/kansai\\_index.html](http://www.あんしん宅地.jp/kansai/kansai_index.html)

〒532-0011 大阪市淀川区西中島6丁目3-32 第2新大阪ビル310号

TEL.050-7103-3704